

ダイトロン福祉だより

**** 真心こめた ふれあいと助け合い ****

= 発行 =

公益財団法人 ダイトロン福祉財団

〒520-3044

滋賀県栗東市伊勢落野神689-1

TEL (077)553-7681

理事長挨拶

平成29年第16回助成金贈呈式 理事長あいさつ

平成29年6月13日

公益財団法人 ダイトロン福祉財団

理事長 高本 敬



本日は、滋賀県庁、栗東市、甲賀市からそれぞれご来賓をお迎えしております。県、また市町村の福祉関係の方々には、いつも当財団に温かいご指導をいただき、大変有難うございます。

また、メインサポーターのダイトロングループを代表して、前 績行 様、野中 昇 様、小林 雅則 様、毛利 肇 様、長尾 修治 様にご出席いただいておりますが、毎年のご支援に厚く御礼申し上げます。

そして今日の主役であります、私共の助成金をお受けいただく福祉事業団体の方々、36団体 並びに「講演」、「事例発表」をしていただく方々を含めて52名様にご臨席いただいております。お忙しい所誠に有難うございます。

さて、世界では欧州のテロの多発、アジアでも近隣諸国との関係に増々緊張が高まっておりますが、このような不安要因が、延いては障害者の方々やそれを支援される皆様方にとっても、将来への不安に繋がる事もあるでしょう。そのように、決して明るいばかりは思えない将来でも、私共ダイトロン福祉財団は、障害者の方々やそれを支援される皆様にとって、例えとても小さな光でも、これからも一筋の光として一隅を照らす存在であり続けたいと願っております。

本年で財団設立17年目、今年は16回目の助成となります。今年は62団体様からのご応募をいただき、これを滋賀県内の福祉関係機関の皆様にもご協力いただき、4月の選考委員会を経て5月の理事会において次のように決定いたしました。

尚、本年度の助成が決定しておりました長浜市のNPO法人こほく自立応援センター様の施設、こほく自立ホームで火災が発生し、幸いにも在宅中の5名はご無事で何よりですが、助成対象の家屋が全焼したため本年度の助成を辞退されました。心よりお見舞い申し上げます。

それでは、それぞれの助成事業の決定の内訳をご説明致しますが、本年は合計36団体に対して総額2,560万円の助成金の贈呈を行う事となりました。

1. 障害者福祉サービス事業等に対する設備助成事業
お申し込み 51 件の中の 27 件 1,595 万 3 千円
2. 障害者の社会福祉参加の促進と生活向上等に寄与する調査研究のための助成事業
お申し込み 3 件の中の 2 件 150 万円
3. 障害者の福祉向上に寄与する施設等の特別助成事業
お申し込み 8 件の中の 7 件 814 万 7 千円

この助成金を受けられる皆様の、日頃より地域に根ざした地道な活動とたゆまぬ努力、さらに、新しい分野に挑戦しようとする積極性が高く評価されたものです。日夜、障害者の方々を親身になって支援されている贈呈先の皆様に、感謝と共に深く敬意を表したいと思います。ありがとうございました。

第16回 助成金贈呈式 祝辞

滋賀県知事 三日月太造様からいただいた祝辞を代読いただきました。



ダイترون福祉財団助成金の贈呈式にあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

ダイترون福祉財団におかれましては、まごころこめたふれあいと助け合いをモットーに障害のある人の社会就労の場の充実、就労の促進、及び地域での生活の向上のため毎年助成をいただいております。

16回目となります今年度も施設、設備面への助成はもとより当事者団体の活動や文化芸術活動の推進、研究に対する助成等、幅広い分野に対して昨年度を大きく上回る多額の助成を頂きました。厚く御礼を申し上げます。

贈呈を受けられます皆様方におかれましては、誠におめでとうございます。

常日頃から障害のある方もない方もともに働き、ともに暮らしていける環境づくりのためにご尽力いただいていることに敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

さて、昨年4月にはいわゆる障害者差別解消法が施行されました。

このほど滋賀県においても障害者差別解消法の実効性を補完するとともに、共生社会づくりをめざす、滋賀らしい条例の制定に向けて第一歩を踏み出しました。

滋賀らしさとは、障害者福祉の父、糸賀一雄先生を礎としつつ当事者やご家族の皆さんと十分に議論を積み重ねる過程を大切に、様々なご意見をしっかりと受け止め、それらを皆さんと共有することにより築きあげていくことであると考えています。

また、県では今年から国連で採択された持続可能な開発目標 SDGs に参画する動きを始めました。このSDGsの理念は、だれ一人取り残さない社会の実現であり、滋賀県が目指してきた、障害のあるなしにかかわらず、すべての人に居場所と出番のある社会に通づるものでございます。県といたしましても、こうした視点を大切にしながらすべての人に居場所と出番のある、人生の最後まで豊さを実感し生活できる共生社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

結びに、高本理事長様をはじめ、役員の皆様、審査委員の皆様、さらに財団をお支え頂いている事務局や関係の皆様へ改めて敬意を表しますとともに、本日お集まりの皆様のご健勝とますますのご活躍をお祈りしお祝いの言葉といたします。

平成29年6月13日

滋賀県知事 **三日月 大造** (代読) 滋賀県健康医療福祉部 部長 **藤本 武司**



大津市長 越 直美 様より、祝電を頂戴致しました。



< 祝電 >

公益財団法人 ダイترون福祉財団 第16回助成金贈呈式が関係各位ご出席のもと盛大に開催されましたことを心よりお喜び申し上げます。

滋賀県における障害者福祉の充実・発展のため、多岐にわたり積極的、継続的にご支援をされてきましたことに、心より敬意と感謝の意を表します。

結びに、貴財団の今後ますますのご発展と、本日ご参会の皆様のご活躍を祈念いたします。

平成29年6月13日

大津市長 **越 直美**

第16回 障害者福祉助成金贈呈式のもよう



「開会の辞」 紺谷評議員会長



「謝辞」 ディフェンス 宮下常務理事



「事例発表」 PONY KIDS 山本代表



「閉会の辞」 高橋理事



「講演」 びわこ学園 南方所長



「事例発表」 パレットミル 中山常務理事



第16回 障害者福祉助成金贈呈先

36 団体

助成金総額 25,600,000 円

§ 第1号事業 障害福祉サービス事業所などに対する設備費等助成事業

15,953,000 円

団体名	地域	助成内容
(社福) 湖北会 あそしあ	長浜市	業務用大型洗濯機 HCW - 5276WH
NPO 法人 あんと	野洲市	家屋の屋根瓦葺替
(社福) 滋賀県聴覚障害者福祉協会 湖北 みみの里	米原市	業務用冷凍冷蔵庫、業務用ミシン(JUKI) 2台
特定非営利活動法人 道 重症児デイサービス ふあみりい	彦根市	入浴介護用リフト
(社福) 若竹会 若竹作業所	草津市	マルゼン製 ガスロータリークッカー RCG - 300 (キャラメルラスク製造用)
特定非営利活動法人 スペースウイン グループホーム やまぼうし	守山市	自動火災報知機設置工事
(社福) しあわせ会 障害福祉サービス事業所むつみ園	草津市	作業所仕切り用パーテーション OP - XR - 017 - HIGH 他
特定非営利活動法人 陽だまり 陽だまりA型	野洲市	受発注用複合機(コピー、FAX、電話)
特定非営利活動法人 陽だまり 共同作業所陽だまり	野洲市	製氷機、テーブル型冷凍庫
(社福) 滋賀県視覚障害者福祉協会	彦根市	【車】スズキ エブリイ PA H ルーフ
NPO法人 NPO子供ネットワークセンター 天気村放課後等デイサービス ソラマメくらぶ	草津市	ソラマメくらぶの施設整備 - 誘導灯7個、非常ベル2個、配線工事他
特定非営利活動法人 喜里 ワークスペース喜福	東近江市	移転先施設(H29年夏に移転予定)の空調設備整備 - エアコン設置
(社福) 湖北会 湖北まこも	長浜市	シュレッダー シュレッドマスタープロ4台
(社福) もるどう会 あじさい園	守山市	施設食堂棟入口バリアフリー化のため、食堂扉改修(引き戸へ変更)
特定非営利活動法人 くりの木会 第二くりのみ作業所	栗東市	コンプレッサー(日立 PB - 7.5MNP)
(社福) パレット・ミル 多機能型事業所 パワフル	栗東市	通所者の送迎・請負作業用車両 - 【車】日産セレナ ミニバン 寒冷地仕様
NPO法人 滋賀県社会就労事業振興センター ウッドイ伊香立	大津市	農作業時の屋根付き休憩スペースの設置 - スーパーハウス
一般社団法人 とこKama - moto	野洲市	生活介護事業所の室内整備 - 和室フローリング、天井・壁クロス貼工事
特定非営利活動法人 真 フォーラムまこと	米原市	設備改修 - トイレ改修(トイレ本体、工事費等)
(社福) 美輪湖の家 大津障害福祉サービス事業所 瑞穂	大津市	自家製麺の製造販売 - 製麺機 タイセーⅢ型 一式
(社福) きぬがさ福祉会 おうみや	近江八幡市	ガステーブル、オープン、調理台他
特定非営利活動法人 夢の木 maison de Reve (メゾンドレーヴ)	大津市	間仕切り工事一式
(社福) ひかり福祉会 ひので作業所	長浜市	リラックス効果が期待できる、スヌーズレン(バブルチューブ等)室の設備整備
(社福) 美輪湖 陽気寮	東近江市	設備改善 - 火災通報装置、自動火災報知機の設置
(社福) にぎやか会 にぎやか工房	草津市	野菜の卸売、加工販売用野菜保管設備改善 - プレハブ冷蔵庫一式
(社福) 八身福祉会 葉菜屋	東近江市	H29年4月開設のB型作業所の水耕栽培用、育苗ハウス、育苗棚、育苗箱他
NPO法人 おうみ犯罪被害者支援センター	大津市	「たすけて」の絵本/DVDの改訂及び増刷

§ 第2号事業 障害者の社会参加の促進と生活向上等に寄与する調査研究のための助成事業 1,500,000円

(社福)びわこ学園 びわこ学園医療福祉センター野洲	長浜市	重症心身障害児の有効な呼吸管理方法に関する研究事業
特定非営利活動法人 街かどケア滋賀ネット	野洲市	「いきいき生活支援員」多く見られる「ならではの働き」の見える化に向けての追加調査

§ 第3号事業 特別助成事業 8,147,000円

(社福)汀会 止揚学園	東近江市	介護用ベッド、マットレス(床ずれ防止用)他
(社福)びわこ学園 びわこ学園医療福祉センター草津	草津市	PETRA Race Runner(ランニング補助機器)3台、Hand Bike(手漕ぎ自転車)1台他
湖南ダンスワークショップ	守山市	フランス・ナント市での舞台発表への参加費
スペシャルオリンピックス 日本・滋賀	湖南市	「出前スポーツ教室・体験講座」パンフレット、プロジェクター、ユニフォーム購入
特定非営利活動法人 ディフェンス	草津市	福祉有償運送用車両 - 【車】 スズキ エブリイ 車いす移動車
特定非営利活動法人 緑活作業所 おもや	栗東市	こんにやく製造設備 - 地下水工事、作業台、冷凍ストッカー他
SUNNY SIDE 合同会社 おひさまハウス	草津市	楽器類、プロジェクター、スクリーン、スピーカー等

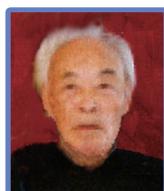
公益財団法人 ダイトロン福祉財団 役職員名簿

評議員会長	紺谷 健治	理事長	高本 敬	監事	岡田 定一
評議員	嶋川 尚	専務理事	益野 忠彦	監事	木村 安壽
評議員	中村きよ子	理事・選考委員	小林治一良	選考委員	村井 龍治
評議員	山下 陽一	理事	山岡 和士	選考委員	川上 雅司
評議員	前 績行	理事	谷口 正樹	選考委員	長尾 修治
評議員	濱田 裕久(新任)	理事	高橋 信二	事務局長	森谷 敏春
				事務職員	木村 恒子

- 当財団の活動報告や収支状況は公益法人協会情報公開共同サイトでご覧いただけます。

<http://www.disclo-koeki.org/02b//00373/index.html>

お悔やみ



濱田 博 様 松崎 義隆 様

ダイトロン福祉財団創設当初から、長年ご尽力くださいましたお二方濱田 博 様(元評議員)が9月に、松崎義隆 様(元監事)が11月にご逝去されました。ここに謹んで哀悼と感謝の意を表します。

ご生前の数々のご貢献を偲ぶとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

第16回 助成金贈呈式 謝辞

特定非営利活動法人 ディフェンス 常務理事 宮下 千代美



この度、助成先としてお選びいただいた36団体の皆様を代表致しまして、貴財団に厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

私共ディフェンスは、障害者の当事者団体「滋賀自立生活センター」が活動する中、障害者の地域生活を直接サポートする必要性を強く感じて立ち上げた法人です。正職員1名とパート職員に登録ヘルパー十数名という小規模な陣容で、事務所もお寺のご厚意で小さな民家を借用しており、地域、公共機関、財団や企業のご支援のお陰様で、不安定ながらどうにか歩んでいるというのが実情です。

主な事業は、障害者の地域生活をサポートするためにホームヘルパーを派遣し、またヘルパーを養成する事業、それに福祉に関する情報提供や政策提言も行っています。加えて、障害者を車で移送する事業も行ってきましたが、人材不足の波が私ども小規模施設を直撃し、特にホームヘルパーの不足は深刻です。ヘルパーの養成事業にも力を入れ、スキルアップや重度訪問介護従事者養成研修についても滋賀県の支援を受けて年一回実施し、当事者である障害者にも参加いただいて今回で14回目になりました。しかし研修を受ける方は年々減って、今回は8名で大赤字ですが、例えディフェンスや福祉の仕事自体に就かなくても、私たちは社会貢献という広い意味合いでの人材育成と考えて実施しています。

社会参加には自由に移動をする事が不可欠で、草津市地域公共交通会議に参画させて頂いて、障害者だけではなく、一般の移動困難な方々にとっても移動しやすい環境にして欲しいと提言しております。近年社会も相当変化してきましたが、まだまだ車いすの利用者にとってはバスやタクシーは乗りにくく移動にはためらいがある、という方が多数いらっしゃいます。それを幾分かでも補う事業として福祉有償運送事業を大津市、草津市の承認を得て14年近く続けています。現在、24時間テレビと滋賀県から頂いたスロープ車計2台で運用しており、両方とも10万キロを越えて故障も増え、継続に不安が出てきていました。他の助成金への応募も落選が続き、今回思いがけなく貴財団の助成を受けて車両を購入することが決まり、皆で感謝の気持ちと共に大喜びしています。

最後に、今回の助成がそれぞれの団体の皆様に向けての大きな期待と大きな激励だと感じております。これからの社会の変化に応じて、この36団体がさらに発展して滋賀の福祉を底あげして豊かなものにしていくことを決意させて頂きたいと思っております。本当にありがとうございました。

助成対象事業の事例発表（発表順）

放課後等デイサービス PONY KIDS 代表 山本 高之



平成28年度、貴財団よりAED2台の購入に対する助成を頂き感謝しています。幸い現在までAEDの活用例はありませんので、私たちPONY KIDSの活動について説明させていただきます。

法令に基づく障害児童の通所支援事業である放課後等デイサービス事業を行っていますが、対象者は6歳から18歳の就学児童です。栗東市を中心に草津市、大津市、守山市で100名を越す人達に利用していただいております。団体の通り、馬を活用した活動をしています。

ホースセラピーという要素と豊かな自然環境という二つの要素を大事にして活動しています。馬に乗るだけでなく、触れ合うこと、世話をすること、馬の堆肥を利用して土を作り作物を育て収穫の喜びを感じる事、豊かな自然環境の中で自由に学ぶこと等、積極的な屋外活動の中で心身の発達に必要な刺激を感じ体験し学び、集団でのコミュニティーを形成することで社会の中で生きていく力を育みます。また、普段の生活の中で働きやすい体づくりをめざし、一人ひとりに合わせたホースセラピーを主としたリハビリテーションを行い社会生活能力の向上を図っています。この理念をもとに日々活動しております。

また、ホースセラピーという要素の中、レクリエーションと教育療育という部分に力を注いでおります。バランス感覚や体幹筋力の向上、また精神面で満足感が得られる、自信に繋がり自尊心が芽生えるという効果などが期待できます。それらに加えて、馬を介してコミュニケーション能力の向上という面でも大きく期待できるのが、ホースセラピーです。そして、私たちは馬の町栗東市で、人と馬の福祉の街づくりという面でも、人のためにもなり、馬の幸せにも繋がるような複合的な事業を目指しています。

社会福祉法人パレット・ミル（パワフル） 常務理事 中山 みち代

当法人は、栗東市の標高約 350 mの山の上で、多機能型事業所と自立就労センターパレット・ミルという2つの事業所を運営しています。平成8年の設立時2名から始め、今は77名が通っていますが、今も毎月就労者が増えています。学校を卒業後に一般就労した場合は10万円程度の最低賃金が保障されるのですが、景気動向で求人が減ると福祉的就労を余儀なくされ、今でも平均2万円前後、設立当時は1万円未満という状態でした。

パレット・ミルの名前の由来は木製パレットですが、最初の仕事として、松下電工さんの屋根材を載せるパレットの仕事をいただいて、それでパレット・ミルという名前をつけてスタートしましたが、今は数社のパレットの組み立てを引き受けています。

平成27年度に貴財団から助成をいただき、発砲スチロールの減容機を購入しました。障害が重度であったり、高齢化などで現在ある仕事に適應できないなどの状況が生じ、一人ひとりに合った多くの種類の仕事が必要になるため、常に新たな仕事を探しているというのが実態です。そのような中、発砲スチロールの再利用のために使用済みの発砲スチロール廃材を運送業者さんの協力でもらい受け、それを減容機で一旦廃材をドロドロに溶かしたのから固まりのビンゴットにする、という仕事を始めました。そのビンゴットを、最初の年はまずまずの相場で業者に売却できたのですが、次年度は原油価格の暴落によって半値以下になり、苦慮した上少し相場が上がるのを待って、最初の年の6割ほどで売却して何とかそこそこの賃金を支払う事ができました。

ここ20年、雪が降っても就労者を迎えに行けないという事はなかったのですが、今年は積雪が尋常でなく、4WD車がないため送迎車が出られなくなって本当に困りました。幸い、今年の貴財団の助成金募集に応募して、助成がいただける事になって8人乗りの4WDの車両を購入できることになりました。貴財団をはじめ、多くのご支援いただいている皆様に感謝致してしております。ありがとうございました。



講 演

社会福祉法人 びわこ学園 びわこ学園障害者支援センター 所長 南方 孝弘

びわこ学園は1963年に重症心身障害児施設として開設され、その54年の歴史の約半分、1990年くらいから重症心身障害児(者)(重心)通園という形で地域の障害の重い人たちの支援に取り組んできました。

私たちびわこ学園では、どんなに障害が重くても、あるいは生活の場が入所施設、あるいは地域の中のどこに住まわられていても、その人らしく、そのひとが市民として生きていく社会を実現するんだ、という事を目指していろいろな取り組みを進めています。

大きくは4つの事業体で運営しており、(1)「びわこ学園医療福祉センター草津」、(2)「同センター野洲」(3)大津市からの受託事業の「知的障害者地域生活支援センター」、最後が(4)「びわこ学園障害者支援センター」で、ここで県内に点在する10事業所を統括していて、私が所属する事業体です。

1990年に滋賀県の重心通園のモデル事業が始まり、その後国でもA型、B型の分類で通園事業が事業化され、一方滋賀県では、他府県ではあまり例を見ない養護学校卒業後の重度障害児(者)の週5日通う場を提供してきました。そのような通園事業を皮切りに、その後の2000年代に入り訪問看護ステーション、ヘルプステーション、そして後述するグループホームなど地域の生活支援事業を展開してきました。

2015年までの7年間の増加率が、全国平均1.2倍が滋賀県では1.6倍と大きく増え、特に在宅重度障害児(者)の数が増えて(2016年562名)、通所施設をはじめ地域のヘルプ事業が重要な役割となっています。びわこ学園の生活介護事業は5事業所ですが、近年 高度医療を含めた医療的ケアが必要な超および準超重症者が40%近く通われており、特別支援学校、養護学校で医療的ケアを必要とする人達が大幅に増加しています。このため、びわこ学園以外の事業所でも、訪問看護、生活介護、放課後DAYなどの事業が増えてきていますが、びわこ学園を含め、それ以外の一人か二人の重心者が通われている生活介護や通所事業所、またヘルプの事業所、グループホームがお互いに横の連携をもってネットワーク会議を開いて、職員の交流を通じてそれぞれの課題を話し合うなど、私たちはこういうことがとても大事で必要なことだと思っており積極的に取り組んでいます。

さて、過去には施設の入所者の中で、グループホームがあれば地域での生活ができると思われる人たちもいましたので、地域移行といったことも視野に入れながら取組を進めてきました。そして、現在びわこ学園でも2ヶ所のグループホームを運営しています。グループホームの必要性については、例えば通所施設などで自分たちのやりがいのある、手応えのある場があって、それをグループホームという居住の場に持ち帰って、みんなと一緒に温めてくれる、そういう場としてのグループホームに大きな意味があるのではないかと思います。グループホームの運営には、収支面、人員確保での困難さや、入居する重度障害者の加齢に伴う健康障害と医療的ケアの問題など、課題は山積ですが、それらを一つ一つ乗り越えながら、滋賀県に障害の重い人たちのグループホームが、一つ、二つと増えていくよう私たちがますます努力していかなければと痛感しています。



平成29年 第15回 助成金贈呈先からのおたより

(誌面の都合上、皆さんからいただいた原稿の一部を編集させていただきます)

特別助成

平成29年より本格的に稼動を始めたダイترون株式会社の中部一宮工場の所在地、一宮市にも障害者福祉助成500万円をさせていただきました。

贈呈式の様子



平成29年12月1日に、愛知県一宮市役所にて社会福祉法人一宮市社会福祉協議会様に福祉助成金を贈呈いたしました。

なお、この助成金は、車いす対応の福祉車両、聴覚障害者のための要約筆記を表示する機器などの購入に充てられる予定です。



左から、一宮社協 河村会長、高本理事長、中野一宮市長

社会福祉法人 湖北会 あそしあ

【長浜市】

この度は「業務用大型洗濯機」購入への助成金を頂きありがとうございました。自己資金と合わせ、従来のものより、5kg多く洗濯できる機種を購入することができ、利用者・職員一同大変喜んでおります。

あそしあは、主に知的障害のある方の入所施設で、現在、44名の方が利用されており、生活全般を支援させていただいております。その中で、衣類の洗濯業務は、大きなウエイトを占めており、この業務(衣類等の洗濯・乾燥・利用者さんごとの仕分け)に職員1名が専属で



従事しています。従来の洗濯機は、開所時に整備したもので、今年で二十歳になります。いつ故障してもおかしくない状態と聞いていますし、故障しても交換部品がない状況でした。壊れてから発注しても1か月はかかります。その間、利用者さんには大変なご迷惑をかけることになるとともに、職員の負担も計り知れないものとなります。

今回、助成金を頂き新規購入できるまで、止まらず動いてくれてありがとう。そして新人洗濯機、頑張ってください。

特定非営利活動法人 人と

【野洲市】

「人と」は設立より4年目の事業所です。もともと養護学校で教員をしていた私が、“障がい”のある子たちの高等部卒業後の進路先として日中に通えるようにと開きました。建物は、築40年近い民家を使用していますが、内部はリフォームがされており、利用者の方々には狭いながらも快適に通所いただけていました。

ところが、昨年の台風後に屋根瓦の破損が見つかり、専門の方に屋根を見ていただいたところ、どうも全体的にかなり傷んでおり、このまま放置しておくとも雨漏りにつながるということでした。どうやら屋根のリフォームはされていなかったようなのです。そこで、今後のために助成をお願いして、屋根を新しくしていただこうと思いました。

助成をいただいて無事に工事も完了し、今では利用者の方、スタッフ一同みな安心して、家屋の中で各自の仕事などに励むことができます。とても迅速にいただけたこともあり、今回の助成に心より感謝しております。ありがとうございました。



社会福祉法人 滋賀県聴覚障害者福祉協会 湖北 みみの里 【野洲市】

「湖北みみの里」は昨年（平成28年）10月に開所したばかりで、設備備品類も、やりたいと思っている事業に対して、たいへん不十分な状況でした。

そこで、縫製作業の充実のための職業用ミシンと、事業所の一つの売りにしたいと考えている「ヨモギ pasta」の開発に欠かせない冷凍冷蔵庫をお願いしましたところ、併せてお認めいただきました。ありがとうございました。



ミシンは心地よい音を響かせて、たくさんの縫製品を生み出しています。女性の利用者さんにとっては本当に素敵なプレゼントになりました。



冷凍冷蔵庫の冷凍室には、一から自家栽培したヨモギが、まだまだ少量ですが、摘み取られ、ゆがかれ、水分を搾った形で並べられています。小出しにして試食用のパスタをつくり利用者のみなさんに食べてもらっていますが、麺そのものも、ソースも、「だんだんおいしくなってきた」と好評です。

伊吹山のふもとのヨモギパスタ、「いぶきパスタ」として売り出せる日もそう遠くないと思っています。その節にはぜひご購入ください。

（文責 湖北みみの里 中村）

特定非営利活動法人 道 重症児デイサービス ふぁみりい 【彦根市】

私どもは、平成28年8月に立ち上げた重症児デイサービス「ふぁみりい」です。利用されている医療的ケア児は定員5名ですが、来年度から定員15名で、事業所も移転して新しくなり、さらにバージョンアップした事業を展開しようと張り切っています。

今回いただいた助成金で、入浴介護用リフト一式を購入する費用に使わせていただきました。重度の利用者様に入浴していただくのに、とっても役立ちます。

これからも感謝の気持ち忘れず、子どもたちの笑顔に元気をもらいながら頑張っていきます。ありがとうございました。



社会福祉法人 若竹会 若竹作業所 【草津市】

この度は、助成金を賜り、誠にありがとうございました。当事業所は、就労継続支援B型事業を行っています。平成24年4月より食品工房をスタートさせ現在はキャラメルラスクの製造販売や近隣にある、お豆腐屋からいただく「おから」を練り込んだおからパン、おからクッキーの製造販売を行っています。開始当初より製造を行っているキャラメルラスクは、人気商品の一つで大型ショッピングモールのイベントや外部の委託販売では、多くのお客様に購入していただいております。利用者の工賃向上や地域での社会参画を支援していく為にこの度、導入させて頂きました『キャラメルラスク製造用ガスロータリークッカー』を活用し生産量を増やし、販路の拡大を行うことで、売上向上に繋げていきたいと考えております。

今後も売上向上に取組み、利用者の自立の為に工賃保障に繋げていきたいと思っております。ご支援誠にありがとうございました。



特定非営利活動法人 スペースウィン グループホーム やまぼうし 【守山市】

グループホームの自動火災報知機の設置期限が平成30年の3月にせまっているなか、この度の助成を頂き、本当に心強く感じました。心より感謝致します。

最近、テレビや新聞でグループホームでの痛ましい事故や火災を目にするたびに、他人事ではないという感じがしてみんなで胸を痛めています。

幸い、やまぼうしの利用者の方々は自力で歩け、自力で行動できるので火災報知器だけの設置になりましたが、この機会に毎年行っている火災(災害)発生時の避難訓練の方法を見直し、火災報知器が鳴っ

た時にどのように行動すればいいかを実際にやってみたりして、個々の防災に対する意識を高めたいと思っています。

グループホームでの暮らしがそれぞれにとって心豊かな生活になるようみんなで助け合い、何を求められているか心を配り、その思いが届くように支援をしていく所存です。

改めて防災について考えるいい機会になりました。本当にありがとうございました。



社会福祉法人 しあわせ会 障害福祉サービス事業所むつみ園【草津市】

この度は、事業内容にご理解を頂き「作業・活動スペースの環境整備のためのパーテーション」購入に対して、助成をいただき誠にありがとうございました。

むつみ園は来年で開所から35年を迎える施設になります。下請け作業を中心に、手作り製品の制作や療育活動などを行っています。



限られたスペースの中で多種多様な作業・活動に取り組んで頂いている中で、利用者の方の持つお

られる力を十分に発揮して頂ける環境作りに取り組みなければならないという課題に、今回設置したパーテーションが大変役立っております。また、安定感のある突っ張り式ということもあり、利用者・職員一同が安心して過ごすことができています

今後も、必要に応じて部屋の間取りの変更を行うなどし、有効に活用していきたいと思っております。

特定非営利活動法人 陽だまり 陽だまりA型

【野洲市】



この度は、貴財団様より助成いただきコピー機の購入ができました。

A型作業所として3年目に入りましたが、まだまだ順調には行っていません。

そんな中、少しでも収入を増やしたいと今年は労働局からの帳票発送の委託事業を受けました。毎週滋賀県内に送付する注文書がFAXされるのですが、複合機がガタガタと音をたてながらもなかなか出てきませんでした。今は十数枚ものFAXにも楽々対応です。

本業はキクラゲを栽培しています。今はまだ受注数も少ないですが、今後はたくさんの注文をこのコピー機で受けられる様、頑張っていきたいと思っています。

特定非営利活動法人 陽だまり 共同作業所陽だまり

【野洲市】

この度は陽だまり喫茶の製氷機と作業所内厨房の冷凍庫の助成を頂きまして有難うございました。

私達共同作業所陽だまりでは野洲市健康福祉センター内での喫茶運営と喫茶で販売するお弁当作りを中心とした仕事に取り組んでいます。故障がちであった製氷機を購入させて頂いたおかげでお客様に冷えた飲み物を提供でき、また厨房では同じく購入させて頂いた冷凍庫に、ご近所やボランティアさんからいただいたお野菜を上手に冷凍保存しどの季節



にもお野菜いっぱいのお弁当をお届けできるようにこれからも努力して行きたいと思っています。

喫茶のお勧めは日替わりの「陽だまり松花堂弁当」です。お味噌汁とドリンクが付いてなんと500円です。売り切れがありますので、お電話でのご予約を頂ければ有難いです。是非お出でくださいませ。ご予約は077-586-7338 陽だまりまでどうぞ。

社会福祉法人 滋賀県視覚障害者福祉協会 【彦根市】

この度は、事業内容にご理解をいただき、助成を賜りまして誠にありがとうございます。いただきました助成金と一部自己資金とで、6月に開所しました視覚障害者のための作業所「滋賀アイステーション」における、資材搬送や人員輸送等に使用する軽貨物自動車を、配備することが出来ました。導入した車両は4名乗車が可能で、大量の荷物を積載できる頼もしいパートナーが、作業所に加わりました。

作業所では、点字用紙でカゴ作りや靴下の端切れでクッション作り、点字名刺の作成や販売等に取り組んでいます。また、利用者の送迎を行い、機動力を生かした出張マッサージも計画しており、自動車利用により活動範囲が拡大すると期待しています。



滋賀アイステーションは、生産活動の場を設け、それによって工賃を支払っていく就労の場を提供することを目標としています。ご支援を励みに、利用者の皆さんが充実した一日を過ごせるよう努めて参ります。

私達のパートナーとなってくれる軽貨物車両を大切に、かつ有効に使用していきたいと考えています。

NPO 法人 NPO 子供ネットワークセンター天気村 放課後等デイサービス ソラマメくらぶ 【草津市】

放課後等デイサービス ソラマメくらぶの活動場所の火災報知器、誘導灯、消火器及びそれに伴う設備工事の助成金をいただき、子供たち及び職員の安心、安全の確保をより充実させることができ、誠にありがとうございました。

ソラマメくらぶでは、この度避難訓練として、誘導灯に従って避難することと、子供たちに火災報知器の役割を一つずつ説明して訓練を行うことができました。



これまでは火災報知器も誘導灯もなかったのですが、子供たちにはとてもわかりやすく、避難訓練もスムーズに行うことができました。

今後も避難訓練の時はもちろん、非常時の際にも誘導灯に従ってしっかり避難できるように訓練を重ね、子供たちまたは職員の生命身体を守ることに役立てたいと思います。

特定非営利活動法人 喜里 ワークスペース喜福

【東近江市】



NPO 法人喜里は難病の人たちの暮らしや働きを支援することを目的に2014年に設立されました。当法人では障害者就労継続支援B型作業所を運営していますが、利用者数が増えてきたことにより、既存の施設では手狭になり、2017年9月に作業場を移転することになりました。新しい作業場に移転することにより、広い作業スペースが確保できたのですが、エアコンが設置されていないことから、作業環境の整備が必要になっていました。作業所で働く利用者は難病の人たちや慢性疾患の人たちが中心であり、温度や湿度の調整などは欠かすことのできないものです。そこで、今回ダイロン福祉財団様の助成を受け、業務用のエアコンを2台設置させていただきました。エアコンを設置していただけたことで、難病の人たちや慢性疾患の人たちが毎日安心して作業を行う環境を整えることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

社会福祉法人湖北会 湖北まこも

【長浜市】

この度は、「シュレッダー4台」購入への助成をいただきありがとうございました。

湖北まこもは、従たる事業所「ほっふる」を含め60名定員の生活介護を実施している障害者支援施設（施設入所支援50名定員）です。

職住分離の一環として、作業にも力を入れており、助成いただいたシュレッダーを使い、裁断された紙を袋に入れ、シーラーをかけ緩衝材として企業様に納品しています。

今まで取り合いだった利用者さんの大好きな作業を十分楽しんでいただける体制が出来ました。利用

者さん職員一同大変喜んでるところです。

これからも感謝の気持ちをもって、大切に使用させていただきたいと思っています。



社会福祉法人 もるどう会 あじさい園

【守山市】

「いただきます!」「ごちそうさま!」「おいしかった~」、お昼になると、こんな声が食堂から楽しそうに聞こえてきます。利用者様と職員、総勢50名程度が集まって、当事業所自慢のひとつ、とてもおいしい給食の時間です。12時のチャイムが鳴ると、一斉に食堂に集まるため入口は大混雑です。そのため、転倒の危険があったり、歩行器や車いすを使用される方は移動しにくかったり、おいしい給食を前に不安な面が存在していました。今回は助成金をいただき、狭くて段差のあった入口を、大きな引き戸とバリアフリー化する工事を行うことができました。入口が通りやすくなったことで、利用者様も喜んでおられ、職員にとっても支援環境が改善され、感謝の気持ちでいっぱいです。引き続き、利用者様が笑顔で過ごせるように支援をして参ります。この度は、あたたかいご支援をいただき、ありがとうございました。



特定非営利活動法人 くりの木会 第二くりのみ作業所

【栗東市】

この度は、貴財団より贈呈いただきました助成金により、念願の『大容量コンプレッサー』を購入することが出来ました。ここに改めてお礼申し上げます。日々品質向上に向けた取り組みをする中、良品製品作りに職員・利用者共々頑張っています。

今後は、このコンプレッサーの活躍頻度が増し、今以上の受注が期待出来、生産量アップが見込まれます。今は、この機器が無いと、必要不可欠と言って良い程の役割を果たしてくれていますので、毎日の作業に携わる事が出来なくなる事は、全く想像できません。これからは、メンテナンス等を怠ることなく、未永く大切に使用させていただきます。



社会福祉法人 パレット・ミル 多機能型事業所 パワフル

【栗東市】

この度は『日産セレナ』へのご助成、ありがとうございました! パレット・ミルで初めての4WDの送迎車です。これで今度の冬は安心して迎えられます。本当に嬉しいです。

今年の冬は今までにない大雪が降りました。栗東市の中山間地に位置するパレット・ミルでは、今までは雪が降っても観音寺集落の方々の生活道路は早朝から除雪車で雪かきをして下さる為、出勤や送迎が出来ない事は1度もありませんでした。

ところが今年の雪では敷地内はどうか抜け出せたものの、村までのゆるやかな登り坂をどの車も登り切れず、利用者を2時間近く待たせてしまい、皆が寒さでカチンコチンになってしまいました。

10社近い施設外就労の事業所さんにもお詫びの電話をかけまくり、まだ平地にいる職員の車を総動員して遅ればせながらもどうか送り届ける事ができ

ました。

「せめて1台でも4WDの車が必要やねえ。何とか欲しいなあ。」と皆が痛切に願った1日でした。

この切実な願いが叶えられ、又、利用が増えて(今や75名になりました)、今もまだ足り苦しい送迎車として、今日もみんなを満載して元気に走ってくれています。



NPO 法人 滋賀県社会就労事業振興センター ウッディ伊香立 【大津市】

大津市伊香立地区では高齢化による耕作放棄地がたくさんあり、3年ほど前から地元の方より農地をお借りして、自然豊かな環境で栽培をしていました。今年度からは更に広い農地をお借りして、多くの作物の栽培に取り組んでいます。又私達の事業所では蕎麦店を営んでおり、その店にも自家製の作物をお客様に提供できるように今年度から本格的に取り組んでいます。ただ借り受けている農地には倉庫がなく農機具の保管場所に苦慮し、又農業に携わる利用者さんの屋根付きの休憩スペースもなく体調管理において不安を持っていました。

この度助成金を賜り、スーパーハウスを設置することができ、農機具の保管場所や休憩所を確保する



ことができました。又今後農産物の加工場としても活用できるようになり、農業事業の更なる拡充に繋げることができました。

ダイトロン福祉財団様のサポートにより利用者さんに安心して農作業ができる環境を作ることができたことを感謝と共に御礼申し上げます。

一般社団法人 ところ Kama-moto 【野洲市】



「事業所の歴史の始まり」

この度は、事業所の改修費用に対して助成金を頂き、ありがとうございました。

おかげさまで、重い障害をもつ方々の為の事業所として開所出来ました。古い平屋建ての一軒家です。畳敷きだった部分をフローリングにしたり、押入れの襖を取っ払って、床や壁にクロスを貼って、ベッドを置くスペースや車椅子での利便性に配慮しました。

私達は毎朝事業所の掃除をします。その際、私は必ず雑巾で床を拭きます。床には小さな傷が幾つも付いています。車椅子で、机で、椅子で。私達は情熱も希望も喜びも持っていますが、ただひとつ持っていないものが、事業所としての歴史です。しかし、その小さな幾筋もの傷は、私達の歴史として床に刻まれつつあります。私達は、単に改修費用を助成して頂いたのではなく、歴史を刻む、その始まりの舞台を一緒に作って頂いたのだと理解しています。

特定非営利活動法人 真 フォーラムまこと 【米原市】

この度の助成のお蔭さまをもちまして、施設内は、かなり快適に過ごせるようになりました。

トイレはかなり古い洗浄機能はもとより、暖房機能も無いものでしたので、利用者のみならず、スタッ

フも喜んでいます。

また、こだわりを持つ利用者さんの中には洗浄が出来ないことにパニックになりかける方もおいでたので、今は安心してトイレに行かれる姿をみると、安堵しています。

床においても元気な利用者さんが何人もおいでて、思い切りジャンプをしたりして、床が抜けそう



になっている箇所がありました。が修理することが出来ました。非常に傷んでいた箇所は板の張り替えをしていただき、板は傷んでいないけど浮いて危ない箇所は、木ねじで抑えていただきました。

ケガもなく、皆が楽しげにすごしているのも今回の貴財団からの助成のお蔭と感謝しております。



社会福祉法人 美輪湖の家 大津 障害福祉サービス事業所 瑞穂 【大津市】

この度は助成頂きまして、ありがとうございました。

一度に12.5kgの製麺が出来る機械を導入し、今までの作業時間が約半分になり、飛躍的な生産性の向上が出来ました。



今までよりも受注の幅を拡げることが出来、更に新規の注文を増やすことも出来たので、売り上げの

向上にも繋がっています。

これまでに、大津市近辺のフードフェスに出店することによって瑞穂製麺所の認知度をあげる事で、これからは個人向けにも販売していけたらと考えています。

社会福祉法人 きぬがさ福祉会 おうみや 【近江八幡市】



今回、貴財団からの助成でスチームコンベクションオープン・ガステーブルを購入することができました。誠にありがとうございました。

「おうみや」では、3年前より近江八幡市の市役所内食堂での飲食店営業を行ってききましたが、市役所の建て替えに伴い、今年9月下旬に食堂を閉店することとなりました。現在、働いている利用者の新たな作業保障として、食堂を利用してもらっていたお客さんに向けた宅配弁当事業の計画を立てましたが、新たな設備を整えるためには多額の資金が必要でした。助成金を活用させていただき、多くの設備を整えることができたことにより、10月より事業を開始する目処が立ちました。

事業の安定した運営には、まだまだ遠い道のりですが、今後もより多くの利用者の力が発揮できるように、目標に向かって頑張っていきたいと思えます。

特定非営利活動法人 夢の木 maison de Reve (メソンドレーヴ) 【大津市】

この度は、高齢者の精神障がい者のためのグループホームであるmaison de Reve (メソンドレーヴ) 間仕切り工事への、貴重な助成金を賜わり誠に有難うございました。おかげさまで、本工事により2部屋を増やすことができ、2名の定員増が出来る運びとなりました。

夢の木では maison de Reve はじめとするグループホームにおいて、入居を前提とした見学も実施しており、工事完了後 maison de Reve に体験入居を経て入居される方が、既に1名確定しています。



わが国には、退院可能でありながら入院を余儀なくされている患者が約8万人いるといわれ、その約7割は55歳以上であり、この年齢層は年々高くなっています。

「障がい者権利条約」の批准国となった状況下、国や病院側は精神科病院から長期社会的入院者を解消する必要があり、現在夢の木のグループホームやB型就労継続支援見学や体験入所の問合せが増加しており、夢の木は地域での受け皿としての施設整備、サービスを充実させ、「人として当たり前地域で暮らすことができる社会」の実現に注力して参ります。

社会福祉法人 ひかり福祉会 ひので作業所

【長浜市】

今回の助成金により、スヌーズレン設備の設置を行うことができました。

ひので作業所では、障害の状況に応じた療育的活動（音楽療法・リラクゼーション）や身体機能の維持の為に運動（散歩・リハビリ体操・プール）を取り組んでいます。より良い環境と取り組みを検討した中でスヌーズレンに着目しました。しかし、身近に体験できる施設がなく、設備機器も高額な為、断念せざるを得ませんでした。ですが、助成金をいただけたことで設置することができ、この空間で利用者さんはリラックスし、個々の感覚を伸ばしています。また、この設備は地域の方にも開放したくさんの方に体験していただきたいと思っております。

今回助成金を賜り、誠にありがとうございました。

社会福祉法人 美輪湖 陽気寮

【東近江市】

この度は、私共のケアホーム「陽気寮」に助成金を賜り心よりお礼申し上げます。

さまざまな災害や事故を受けて法令が改正されていくと共に、当法人では設備整備が喫緊の案件となっておりましたが、陽気寮の消防設備の整備が可能となり、大変感謝しております。今回の助成により、火災通報装置と自動火災報知機の設置を行います。

火災通報装置を整備することにより、火災発生時には消防署に自動で通報が行われるので、入居者さん・支援者ともにより迅速な避難が可能になります。ホームには自力での避難が難しい入居者さんもおられますので、少しでも早く避難支援を始めることが重要な課題でした。機器の設置によりその負担が軽減されるものと思われまます。現在工事日程の調整中ですが、設置が終われば入居者さんにより安心感のある日常を送っていただけると考えております。



社会福祉法人 にぎやか会 にぎやか工房

【草津市】

今回の助成をいただき、経年劣化により機能が低下してきていた業務用冷蔵庫を、警報設備が整った新しい冷蔵庫に買い替えることができました。

にぎやか工房では、受託事業として、ボルトの組立やフォークリフト等に使用する配線コード加工、広告折りなどの仕事をしています。共同農園部では、野菜の卸業を行い、利用者さんが加工されたごぼうのささがきや、玉ねぎの千切り等の野菜も施設やお店に納めています。冷蔵庫が新しくなったことにより、利用者さんから「今までの冷蔵庫とは違い、冷蔵庫内は明るく綺麗でドアも開けやすい、床のスノコは重い荷物でも軽い力で移動できるのでとても使いやすい。」と喜んでおられます。これからも大切に使用させていただきます。利用者、職員一同感謝し

ております。ありがとうございました。



社会福祉法人 八身福祉会 葉菜屋 【東近江市】

当事業所は、以前から行っていた水耕栽培事業を移転・拡張し、平成29年4月に新規就労継続支援B型事業所「葉菜屋（はなや）」として開所しました。ガラスハウスでの水耕栽培事業をメインの作業として行い、収穫したレタスなどを出荷しています。

また、今年度開所した新規事業所の建物は、空き家となっていた古民家を改修して利用しています。頂いた助成金では、古民家での作業を行うためのビニールハウスと備品を整備しました。メイン作業の作業場であるガラスハウスは、夏場・冬場は厳しい環境になるため、少しでも利用者の負担を減らすためにも、助成頂いたビニールハウスで苗の育成やベビーリーフの栽培を行います。

政府が推進する農福連携の潮流もあり、障害のある方の農業への参加が注目されています。今回の助成を生かし、当事業所もより積極的に利用者の受け入れと事業の拡大を行っていきます。本当にありがとうございました。



特定非営利活動法人 おうみ犯罪被害者支援センター 【大津市】

絵本「たすけて」・DVD作製にあたって

平成29年7月、性犯罪に関わる法律が改正されました。これは明治の制定以来初めての画期的な出来事で、その中で大きく変更されたのが「男性の被害も性犯罪として認められた」ことです。

絵本「たすけて」には、女の子の被害までしか掲載していませんでしたので、今回そのページを新たに追加する作業をしています。短い言葉で子どもが理解できるように、被害にあった子が自分で説明しなくてもそのページを開いただけで自分の気持ちはこれだと伝えられるように、「被害の事実」と「被害後の気持ち」の2ページを考えています。

短い文章で全てを伝える難しさに行き詰まりながら、あと半年で文章とデザインを決定、そしてDVDの声と映像を編集する作業にかかる予定です。前半に多大な時間を費やしていますが、男性被害を表現する困難さをご理解いただけますよう、そしてよりすばらしい絵本「たすけて」・DVDが出来上がることをご期待いただきますようお願い致します。



社会福祉法人 びわこ学園 びわこ学園医療福祉センター野洲 【長浜市】

びわこ学園医療福祉センター野洲の利用者には、呼吸障害を持っている方が多くおられます。呼吸障害の原因は、呼吸中枢の機能障害や気道が閉塞しているなど様々です。その結果、低酸素血症や高炭酸ガス血症に陥るのですが、低酸素血症をタイムリーに知るにはパルスオキシメータという機器を使用します。この機器は、利用者に非侵襲的であり一般にもよく知られています。一方、高炭酸ガス血症を知るには今までは採血しか方法がありませんでした。し



かし、このたび購入した経皮血中ガス分圧モニタを使用すると、非侵襲的に炭酸ガスの貯留具合を測定できます。また、この機器のすごいところは測定器を付けたままにしておくので経時的に測定できることです。どのような状態の時に、炭酸ガスが貯留するのが数値やグラフで一目瞭然なのです。利用者にとって優しく、医療者側にとって有意義な夢のような機器を導入することが出来ました。ありがとうございました。

特定非営利活動法人 街かどケア滋賀ネット 【野洲市】

滋賀県では、知的障がいのある人たちが介護の場で働く「いきいき生活支援員」が平成27年度から全国に先駆けて制度化されました。しかし、その「いきいき生活支援員」の特性を生かした“ならでは”の働きは、これまで客観的に伝えるのが難しいとされてきました。そこで“ならでは”の働きを見える化（客観化）しようと調査事業を平成27年度より始めさせて頂きました。

引き続き、介護事業所や障がい事業所の関係者、行政等の関係者や大学の研究者等からなる検討委員



会を構成し、協議を重ねております。

ビデオ撮影やヒアリング等を通じてのデータ収集とその分析についても全国的にはほとんど例がなく、調査は手探りです。しかし、「いきいき生活支援員」の“ならでは”の働きを拡げ、雇用を促進するためにも検討委員、関係者が力を合わせて進めていきたいと思っております。

平成13年から取り組んできた“ならでは”の働きの促進が、貴財団の助成を得て、また一歩前進できることを感謝申し上げます。

社会福祉法人 汀会 止揚学園

【東近江市】



止揚学園に入園している知能に重い障がいをもつ仲間たちの平均年齢は54歳となり身体に弱さを覚える人が多くなってきました。そのため立ち上がり困難になってきた人もいてこの度電動式ベッド、マットレス、カバー付のサイドレール3台分を御助成いただきました。早速ベッドで寝てみると、どの人もスヤスヤと気持ち良さそうに微笑みを浮かべながら眠っています。マットレスが褥瘡予防用で体にフィットして快適な様です。またその人に合わせて高さなども調節ができるため、職員の腰にかかる負担も軽減されています。これから益々年を重ねベッドで過ごす時間が長くなるのが想像されますが、貴財団の優しいお心を感じつつ安心して良質な睡眠をとり年を重ねていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

社会福祉法人びわこ学園 びわこ学園医療福祉センター草津【草津市】

この度助成金を頂きありがとうございました。おかげさまで、RaceRunner 3台とHandbikeを購入することが出来ました。身体に不自由のある子どもたちの中には、重い運動障害により自らの力で歩くことができない子どもたちがいます。そのことは、筋肉や関節運動といった身体機能の低下にとどまらず、呼吸循環といった生理的機能にも影響を及ぼします。しかし、歩くことができない子どもたちができるスポーツ活動は、ボッチや電動車いすサッカー等の限られたものしかありません。

この度の助成金で購入したRaceRunnerとHandbikeは子どもたちの年齢や身体機能に合わせて作られたスポーツを楽しむための支援機器です。特にRaceRunnerは、歩くことができない子どもたちに走ることの楽しさを経験するために開発されたもので、北欧では学校体育備品として導入されています。しかし日本には、未だ輸入されておらず子どもたちが試すことすらできませんでした。子どもたちにフィットネスの向上は心身の発達のみならず市民マラソンなど社会参加の機会につながると確信いたします。



RaceRunnerを試す場面 遊☆2017
県立身障者福祉センターにて (2017.9.23)



Handbikeを試す場面 遊☆2017
県立身障者福祉センターにて (2017.9.23)

湖南ダンスワークショップ 【守山市】

フランス・ナント市での舞台発表に参加してきました！



私たち湖南ダンスワークショップは、10月19～26日にフランス・ナント市で開催された『2017 ジャパン×ナント プロジェクト』の舞台に出演し、独自の身体表現を繰り広げてきました。ダンサーたちは、障害の有無に関わりなく互いが互いを刺激し合いながら舞台を作り上げ、障害のあるダンサーも異国の地で臆することなく自己の個性や才能を存分に発揮しました。その舞台は、文化創造都市ナントのお客様を魅了し、発表後は拍手が鳴りやまぬほどでした。

重度の障害のあるダンサーが、フランス・ナント市で舞台発表するにあたっては、飛行機やバスを乗り継いでの長時間の移動、時差、慣れない食事など様々な面で心配があり、マンツーマンでの支援を希望していました。この度、ダイトロン福祉財団様に助成をいただいたことでマンツーマンでの支援が実現し、フランス・ナント市での舞台発表への参加を大成功で終えることができました。本当にありがとうございました。

スペシャルオリンピックス 日本・滋賀 【湖南市】

助成金を頂戴して、障害のある人とない人の交流の促進と障害者スポーツの普及を図る事業（「出前スポーツ教室」）を、私たちの2017年度主要な活動の一つとして実施しています。

最初に実施したスポーツ教室は、7月16日の日曜



日、大津市の堅田イトマンを会場にして開催した「スポーツケア講習会」でした。私たちのアスリートと近隣の一般の子供たちが、スポーツトレーナーのお話し聞き、その後とスポーツ事故を未然に防ぐストレッチや基礎体力を把握する体力測定など取り組みました。スキル向上をめざしてがんばりすぎると体に無理な負荷を与えて思わぬけがをしてしまうことを一緒に学びながら、その後は卓球の初めての体験など楽しい時間を過ごしました。

次の出前スポーツ教室の予定は、11月18日の土曜日に草津市の県立障害者福祉センターで、龍谷大学のボランティアサークルの皆さんとスペシャルオリンピックスのアスリートが合同して企画進行する、ニュースポーツを中心とする「合同運動会」です。

これらの教室を開催する際のスポーツ用品等にいただいた助成金を有効に使わせていただいています。ありがとうございました。

特定非営利活動法人 ディフェンス 【草津市】

この度は『福祉有償運送事業に使用する福祉車両(車いす移動車)』購入への助成ありがとうございます。利用者はもちろん当法人の職員一同大変喜んでおります。



当法人では福祉車両を2台所有していましたが、そのうちの1台がこの近年経年劣化により度重なる修理を繰り返していました。このままでは福祉有償運送事業の運営はもとより利用者へのご迷惑に関わる事になりかねないという状態に直面していたところでした。この度、ご支援頂けたこと大変感謝しております。これからも、より良いサービスと安心、安全を心掛け事業の運営に励んでいきます。

特定非営利活動法人 縁活 作業所 おもや

【栗東市】

この度貴財団より、コンニャク芋の保管として、大型冷凍ストッカーと大型冷蔵保管庫を助成していただきました。

早速今年収穫しましたコンニャク芋を早速冷凍保管します。

獣害が多い里山の対策としてコンニャク芋を栽培し、コンニャクに加工し地元特産品とする取り組みが『栗東コンニャクプロジェクト』の始まりです。助成をいただきましてプロジェクトは進んでおります。これから住民の皆さんと共に取り組んでまいります。ありがとうございます。

※写真につきましては冷凍ストッカーです。大型冷蔵庫は3月の納品の予定となります。



公益財団法人 **ダイترون福祉財団****第17回障害者福祉助成金申込のご案内**

《趣旨》

本年度も当財団の目的および事業に対する社会的要望に応えるため、障害福祉サービス事業所等への資金援助を行うとともに、障害者の社会参加と生活向上等に関する調査研究のための支援を行います。第16回の助成事業の効果を確認し、昨年と同様に特別助成事業も行います。

第17回助成金の公募については、下記の要綱のとおり総額 3,000万円 を限度とし募集を実施致します。

《助成金申込要綱》

記

1. 助成対象事業

(1) 障害福祉サービス事業所等に対する設備費等助成事業 (第1号事業)

ア. 助成対象 滋賀県内の障害福祉サービス事業所等の積極的な事業展開のために必要な設備、資材および作業所等環境改善に対する助成

※但し、車両については6台を限度として助成致します。

イ. 助成金額 1件あたり100万円以内【但し、総事業費の4分の3以内とする】
助成金総額 2,000万円以内

(2) 障害者の社会参加の促進と生活向上等に寄与する調査研究のための助成事業 (第2号事業)

ア. 助成対象 滋賀県内の社会福祉法人、公益法人等が行う障害者福祉にかかる調査研究に対する助成

イ. 助成金総額 200万円以内

ウ. 助成件数 3件程度

(3) 特別助成事業 (第3号事業)

障害者の福祉向上に寄与する施設等に特別の助成を行う。但し、上記(1)、(2)に含まれない、または(1)、(2)の枠を超える事業とする。

ア. 助成対象 滋賀県内の施設等(社会福祉法人、公益法人等含む)

イ. 助成金総額 800万円以内

ウ. 助成件数 8件程度

・助成対象者の選考は、4月に開かれる選考委員会で選考し、5月開催の理事会で決定する。

2. 特記事項

国、地方公共団体等からの補助および他の民間助成団体からの助成と重複して助成は致しません。

3. 助成申請方法

助成金申請書に必要事項を記入のうえ、提出して下さい。

[申込書に添付の書類]

- 1 事業計画書（別紙のとおり）
- 2 見積書（物品等の場合は業者の指定はありません）
（車の買換えの場合は車検証のコピー、新規事業の場合はその用途）
- 3 3定款、寄附行為または規約（法人、団体の場合）
- 4 役員名簿
- 5 直近の承認済収支決算書（平成29年度分が提出不可の場合は平成28年度分）

4. 申請書提出（送付）先

〒520-3044 栗東市伊勢落野神689-1
公益財団法人ダイترون福祉財団

5. 申請期間（郵送にて）

平成30年3月1日（水）～平成30年3月23日（金）消印有効

6. 助成決定

助成の採否については、当財団選考委員会で選考し、5月開催の理事会において決定後、5月下旬に個別に通知します。

7. 助成金の交付及び贈呈式

助成金は、贈呈式以降に交付します。

助成金贈呈式は、7月3日（火）ピアザ淡海を予定しています。

8. 事業完了報告

- (1) 第1号事業及び第3号事業については、助成事業終了後速やかに（平成30年11月16日（金）まで）に当財団に完了報告書を郵送にて提出願います。
- (2) 第2号事業については、助成決定後1年以内に完了報告書を提出願います。（但し、平成30年11月16日までに中間報告書を提出願います）

9. 助成の取り消し

助成事業の遂行が不可能と認められるとき、あるいは助成金が目的外に使用されたときは、助成の取り消しまたは助成金の返還を求めることがあります。

連絡・問い合わせ先： 公益財団法人ダイترون福祉財団

事務局長 森谷 敏春

TEL 06-6399-5016 FAX 06-6399-5216

E-mail アドレス： moritani@daitron.co.jp

*平成30年度の当財団助成金募集に関する情報は、社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会様のウェブサイト、<http://www.shigashakyo.jp/> の「助成金情報」にご掲載いただいております。申込書等は、そこからダウンロードが可能です。（平成30年2月上旬から掲載予定）

【平成29年度の寄附者の方々】

敬称は省略、「あいうえお」順とさせていただきます。

- | | | | | | | |
|---------------|---------|----------|--------|----------|-------|--------|
| 浅田 悦子 | 木村 謙太 | 佐藤 信 | 田村 進 | 仲田 總 | 福留 勉 | 明和 澄夫 |
| アンフェールジャパン(株) | 木村 恒子 | 佐藤 昌彦 | 俵谷 和祐 | 中谷 茂知 | 藤井 憲一 | 毛利 肇 |
| 飯塚 経治 | 木村 正仁 | 佐藤 充男 | 土屋 眞男 | 中野 外志雄 | 藤木 勇 | 森 秀夫 |
| (有)インテアハウスカハラ | 木村 安壽 | 島田 勲 | 堤田 崇三郎 | (株)ナカマック | 藤本 敦朗 | 森田 潤子 |
| 氏原 稔 | 國實 茂良 | 隅田 和夫 | 寺嶋 喜一 | 長本 和男 | 藤本 勲 | 森谷 敏春 |
| 惠中 信勝 | 久納 文男 | セイワ電子(株) | 所 慶一郎 | 中山 勝 | 前 績行 | 八木 春作 |
| 江本 明子 | 熊田 悟 | 曾 憲栄 | 鳥野 良子 | 仁井 光明 | 益野 忠彦 | 矢野 ちづる |
| 江本 美代子 | 熊田 史朗 | 高木 正浩 | 長尾 修治 | 西 弘之 | 松田 豊 | 矢野 宏明 |
| 大木 時彦 | 栗山 聖子 | 高野 純三 | 長崎 大輔 | 野中 昇 | 真鍋 幸三 | 山中 高志 |
| 太田 智巳 | 建築設計 創夢 | 高本 敬 | 中里 征弘 | 畠山 恒一 | 真鍋 周三 | 山本 隆弘 |
| 沖友 正幸 | 小菅 甚蔵 | 高本 勢津子 | 仲田 勝彦 | 濱田 博 | 真鍋 良輔 | 横山 和則 |
| 小野寺 孝志 | 小林 雅則 | 竹村 功 | 中田 敬介 | 林 知加子 | 水野 勉 | 横山 広男 |
| 片山 博文 | 紺谷 健治 | 立川 由美子 | 中田 健作 | 樋口 聡 | 満田 勇 | 吉岡 宏展 |
| 河 良一 | 酒井 恵里奈 | 田中 雅之 | 中田 耕平 | 福島 通晴 | 村上 祐造 | 代田 安俊 |
| | | | | | | 渡邊 舞 |

その他匿名をご希望の方が13名いらっしゃいます。

合計 112名 寄附金計 1,580,000円

ダイترون株式会社からのご寄附

20,000,000円

本年度(2017年)より、ダイトエレクトロン株式会社、ダイترونテクノロジー株式会社、ダイトデンソー株式会社の3社は、ダイترون株式会社へ一本化されました。

▶▶ 新着情報 ▶▶

前年に続き、平成30年には新たに第2工場も完成して稼働を始める予定です。

新たに活動を始められた一宮工場の社員の皆様からの財団へのさらなる心温まるご支援をお待ちしております。

また、一宮市民の皆様、今後ともよろしく願いいたします。



ご寄附の金額 および 助成金額 の状況

		平成26年(2014)度	平成27年(2015)度	平成28年(2016)度	平成29年(2017)度	
寄附者の総数		153名	162名	114名	113名	
寄附金額		12,368,000円	17,047,000円	21,529,000円	21,580,000円	
内 訳	ダイترون・グループ企業	寄附者数	3法人	3法人	3法人	
		寄附金額	11,000,000円	1,500,000円	20,000,000円	20,000,000円
	個人及び団体	寄附者数	150名	159名	111名	112名
		寄附金額	1,368,000円	2,047,000円	1,529,000円	1,580,000円
助成金額		10,469,000円	16,487,000円	21,151,000円	30,600,000円	

平成30年度は、助成金額30,000,000円を予定しております。

— ご支援、ご協力誠にありがとうございました —